

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H29	H30	R1		
岡山県	鏡野町	鏡野町	●	●	□	B	令和元年度については、概ね計画通りの目標が達成できている。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である 人見 哲子 から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

美作大学 生活科学部 食物学科 准教授 人見 哲子

【意見聴取の概要】

昨年度に(株)山田養蜂場との連携が困難になったが、素材生産や商品生産、商品開発について業者に委託し連携して事業に取り組んでいる。現在、事業完了後の法人化への取り組みについて事業者と協議をするなかで、事業の収益性を高める取り組みについて重点的に協議を進める必要がある。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	鏡野町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	鏡野町	平成 29 年度	令和 元 年度	令和元年7月2日 ~ 令和2年3月25日
3. 事業費(うち国費)	1,433,530円(1,400,000円)			
4. 第三者氏名	人見 哲子			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 事業にかかる時期が遅れたが、1商品を開発し、町内飲食店と連携して各店舗ごとの新しいレシピを開発しており、計画当初の目標は概ね達成できている。計画終了後の法人化に向けた取り組みを協議するなかで、事業の収益性の向上等、早急な法人化に向け協議を重ねてゆく必要がある。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象			
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 原木なめこきくらの発生時期を逃してしまったが、原木なめこきくらを使用した商品の開発及び新しいレシピの開発を行い、商品は1種類だが多くのレシピが生まれた。生産量に見合った販路の模索が必要である。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象			
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 原木の伏せ込み本数が目標を下回っているが、生産量は増加している。なめこ事業に係る従業員の所得については、商品としての販売に加え、素材として飲食店への販売をするなど、製造経費の削減も含めて工夫が必要である。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象			
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 昨年度に(株)山田養蜂場との連携が困難になったが、素材生産や商品生産、商品開発について業者に委託し連携して事業に取り組んでいる。現在、事業完了後の法人化への取り組みについて事業者と協議をするなかで、事業の収益性を高める取り組みについて重点的に協議を進める必要がある。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)			
④その他				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。

学識経験者等第三者について

鏡野町

<p>1. 第三者の氏名、住所</p> <p>① 氏名： 人見 哲子(美作大学 生活科学部 食物学科 准教授)</p> <p>② 住所： 岡山県津山市北園町50(美作大学)</p>	<p>3. 第三者の経歴</p> <p>昭和52年4月 美作女子大学家政学部 助手</p> <p>平成11年4月 美作大学家政学部食物学科 講師</p> <p>平成26年4月 美作大学生活科学部食物学科 准教授 (現在に至る)</p>
<p>2. 第三者に選定した理由</p> <p>人見准教授が教鞭をとる美作大学は、鏡野町と地方創世の実現に向けた連携協定を締結しており、様々な取り組みにおいて学識経験者としての評価・助言を行っている。また、美作地域に根差した教育活動を展開していることから鏡野町の現状を把握しており、本事業の評価・助言に適していると考え。人見准教授については、調理学等の専門家として、産官学民連携による商品開発に関する豊富な実績を有しており、令和元年度の本交付金事業は商品開発ならびに新たなレシピ開発を行うことから、本事業の評価・助言における高度の見識、専門性を有すると考える。</p>	

別紙2

(任意評価様式第3号)

令和元年度	事業開始 3年目	岡山県苫田郡鏡野町	鏡野町
-------	-------------	-----------	-----

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

○事業の実施状況

- ・原木なめこ及びきくらげを使用した伝統料理を商品化した。



- ・鏡野町内飲食店と連携し、原木なめこ及びきくらげを使用した新たなレシピ開発を行った。



新たなレシピをPRするチラシを作成した。



○今後の事業構想